

GCERF とは

正式名称は「コミュニティの働きかけと強靱性に関するグローバル基金 (Global Community Engagement and Resilience Fund)」で、各単語の頭文字をとって「GCERF」(ジーサーフ)と呼ばれています。2013年9月のGCTF閣僚級会合で、ケリー米務長官(当時)から設立意向が表明され、2014年11月に開催された運営理事会発足会合をもって正式に活動を開始しました。GCERFの事務局はスイスのジュネーブに設置されています。

世界各国の政府及び民間団体からドナーを募って資金を集め、同資金を、テロリスト及びテロに通じる暴力的過激主義の対策に草の根レベルで取り組んでいる地域団体 (community-based organisations) 等が実施するプロジェクトに拠出することで、テロを起こさせない社会作りの支援を行う国際組織 (国際基金。非営利団体) です。

GCERF の活動

GCERF は、テロリスト及びテロに通じる暴力的過激主義の対策に草の根レベルで取り組んでいる地域団体等の活動プロジェクトに資金を拠出するとともに、これらのプロジェクトの審査・監督・評価を行う、世界的にもユニークな組織です。

GCERF は、テロリストを生み出さない・テロを起こさせない社会を作るため、それぞれ地域コミュニティの特徴に合わせたプロジェクトへの支援を行っています。例えば、若年層や青年層向けの教育活動や文化・スポーツプログラムを通じた暴力的過激主義に対する意識の向上、女性を対象とした社会参画推進イベントの開催、地域の宗教指導者やコミュニティの長などに対するリーダーシップ訓練等の機会を提供することによって暴力的過激主義に代わる考え方を広めたり、コミュニティの強靱性を育むことはその一例です。

これまでに、GCERF は、ナイジェリア、マリ、バングラデシュ、コソボ、ケニア、フィリピン及びチュニジアでの暴力的過激主義対策プロジェクトに資金を拠出してきており、ドナーから集められた資金は、2020年12月末時点で約9740万米ドル(日本円で約110億円)にも上ります。



GCERF が支援をするプロジェクトの活動の様子 (GCERF の HP より)

各国・地域のコミュニティで行われる草の根レベルの活動では、コミュニティに所属する一人ひとりと向き合うことで当該地域住民らの意識を着実に変えていくことが可能であり、それ故、テロに繋がる暴力的過激化対策として非常に基本的かつ効果的な取組であるとされています。我が国は、ドナー国の一員としてGCERFに資金的な支援を行うことで、暴力的過激主義への対策を行う地域団体による草の根レベルの活動を支援し、テロリストを生み出さない社会を広げていくことで、世界のテロ対策に貢献しています。

これまでに、我が国が拠出した資金は、マリ、ナイジェリア、バングラデシュ及びフィリピンで行われた暴力的過激主義対策プロジェクトに活用されてきました。

バングラデシュでのプロジェクト

バングラデシュは、世界テロ指数(Global Terrorism Index※)において、2019年に31位にランク付けされています。バングラデシュでは、2015年10月に邦人1人が射殺される事件が発生。翌2016年には、首都ダッカにおいて、主に外国人が利用するレストランが武装集団に襲撃され、邦人7人を含む20人以上が死亡する事件が発生するなど、同国のテロ対策の推進は、我が国にとっても、非常に重要です。

(※豪のシンクタンク「経済平和研究所」(Institute for Economics and Peace)において毎年作成。世界162か国における直接的又は間接的なテロの被害を総合的に調査し指数化しており、指数はテロ事件、死亡、負傷、物的損害の数字を含む)

また、2017年には、隣国のミャンマー治安部隊が反政府武装組織の掃討作戦を開始したことを受け、バングラデシュへ避難する多数の難民が発生。更に、最近では、アルカイダと関係を有するとされるグループによるこれらの難民に対するリクルート活動が確認されています。また、2019年4月には、首都ダッカで即席爆発装置が爆発し、警察官3人が負傷した事案についてISIL名での犯行声明が発出されるなど、同国のテロの脅威は依然として確認されています。

GCERFは、バングラデシュでの暴力的過激主義対策プロジェクトを支援するに当たり、特に、若者、女性及び難民を対象としたプロジェクトに焦点を当てています。これらのプロジェクトには以下の活動が含まれています。

- ・若者を対象としたスポーツ競技会や討論会の開催
- ・暴力的過激主義を防止する方法について、宗教指導者・ジャーナリスト及び地元指導者への会議、研修、討論会の機会の提供
- ・女性の地位向上のためのイベントの開催
- ・若者を対象とした、職業能力トレーニングプログラムや職業技能訓練 など



GCERF が支援をするバングラデシュでのプロジェクトの活動の様子 (GCERF の HP より)



GCERF が支援をするバングラデシュでのプロジェクトの活動の様子 (視察時に撮影)

フィリピンでのプロジェクト

フィリピンは、世界テロ指数 (Global Terrorism Index) において、2019 年に 9 位にランク付けされています。フィリピンでは、複数のイスラム過激派組織のほか、共産党傘下の武装組織である新人民軍 (NPA) 等、多数の過激組織が活動しています。ISIL に触発されたグループなどの暴力的な過激グループの活動も確認されており、2018 年 7 月には、ISIL の週刊誌「アル・ナバア」で、同国の一部地域が ISIL の「東アジア州」として表記されました。また、2019 年には、フィリピン国内に所在する ISIL 関連組織による自爆テロが相次ぎました。

フィリピンにおけるイスラム過激組織によるテロは、近年、ミンダナオ地方西部にほぼ限定されており、GCERF を通じたフィリピンへの支援は、我が国が長年取り組んでいるミンダナオ和平プロジェクトにも寄与します。

GCERF は、フィリピンでの暴力的過激主義対策プロジェクトを支援するに当たって、特に、若者を

対象としたプロジェクトに焦点を当てています。これらを対象としたプロジェクトには、以下のような活動が含まれます。

- ・若者間の暴力的過激主義を防止することを目的としたイベントの開催
- ・暴力的過激主義を防止し、それに対抗するための宗教指導者及び教師へのトレーニングの提供
- ・暴力的な過激派グループのイデオロギーに対抗するための、伝統的な価値観を促進する機会の提供 など



GCERF が支援をするフィリピンでのプロジェクトの活動の様子(GCERF の HP より)

日本と GCERF との関係

我が国は、GCERF のドナー国として、2015 年以来、ほぼ毎年、GCERF への資金拠出を行ってきており、2021 年 3 月末までに約 752 万 5 千米ドル(日本円で約 8 億 5 千万円)の支援を行ってきました。

また、我が国は、GCERF の最高意思決定機関である運営理事会のメンバーとして GCERF の運営にも携わっており、年に 2 回開催される同理事会にも、毎回参加しています。

テロ対策は一国の力だけで達成できるものではありません。我が国は、今後も、GCERF やその他の国際機関、団体及び関係諸国と連携を取り合うことで、暴力的過激主義対策を含めた世界のテロ対策へ貢献を続けていく方針です。

※参考(2020 年 12 月末までの累計拠出状況)

1位米国 2位オランダ 3位 EU 4位スイス 5位カタール 6位 日本